

**「練馬区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直し検討に向けた
ニーズ調査にご協力ください
(就学前児童家庭用)**

昨年、子ども・子育て支援新制度がスタートし、区では、「練馬区子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。計画では、現状と計画の内容を点検の上、必要がある場合には、計画の中間年にあたる来年度に見直すこととしています。

そこで、計画の中間見直しを検討するため、子育て中の区民の皆さまに、教育・保育サービスの利用意向などに関するアンケートを行います。

設問も多く大変恐縮ですが、練馬区を安心して子どもを産み、楽しく子育てのできるまちとしていくために必要な調査ですので、ぜひご協力をお願いいたします。

本調査は、住民基本台帳から、2,500 人を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、調査票にご記入の上、同封の返送用封筒にて 12月12日(月) までにご投函ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成 28 年 11 月

練馬区

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、あて名の保護者の方を「あなた」とします。ご本人がお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24 時間制 (例: 「午後 4 時」は「16 時」) でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしませんので、思いのままをお答えください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

練馬区 こども家庭部 こども施策企画課 こども施策担当係
電話 : 03-5984-1306
FAX : 03-5984-1220

用語の説明

☆この調査で使用している用語の説明は以下のとおりです。

なお、別冊「練馬区の子育て支援制度の紹介」にも調査で出てくる子育て支援サービスの概要や利用料金が載っていますので併せてご参照ください。

- 幼稚園** : 学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。
- 練馬こども園** : 練馬区独自の制度として、通年（夏・冬・春休みも含む）で11時間保育を実施する私立幼稚園（認定こども園を含む）を「練馬こども園」として認定しているものです。対象は3～5歳児です。認定された私立幼稚園は、認証保育所等との提携や教育・保育の質のさらなる向上（研修や職員交流）へ取り組んでいます。
- 保育所（園）** : 児童福祉法に定める保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。
- 認定こども園** : 幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設です。
- 認証保育所** : 東京都が独自に定めた保育所基準を満たし、東京都から認証を受けた認可外保育施設です。
- 家庭的保育事業** : 保育士などの資格のある家庭的保育者が、定員3～5人で自宅の一部を使って家庭的な雰囲気の中で、保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業です（保育ママ）。
- 小規模保育事業** : 定員6～19人で家庭的保育に近い雰囲気のもと、保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業です。
- 事業所内保育事業** : 事業所内の保育施設において、事業所の従業員の子どものほか、地域の子どもの保育を行う事業です。
- 居宅訪問型保育事業** : 障害などにより医療的ケアが必要で、集団保育が著しく困難である児童を、児童の自宅で1対1の保育を行う事業です。
- ファミリーサポート事業** : 地域住民が子どもを預かる事業です。
- 子育て** : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援の意味で用いています。
- 教育** : 問12までは家庭での教育を含めた広い意味、問13以降では幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたがお住まいの町名をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

〔郵便番号が176の地域〕

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|---------|
| 1. 旭丘 | 2. 小竹町 | 3. 栄町 | 4. 羽沢 | 5. 豊玉上 |
| 6. 豊玉中 | 7. 豊玉南 | 8. 豊玉北 | 9. 中村 | 10. 中村南 |
| 11. 中村北 | 12. 桜台 | 13. 練馬 | 14. 向山 | 15. 貫井 |

〔郵便番号が177の地域〕

- | | | | | |
|------------|----------|----------|---------|---------|
| 16. 富士見台 | 17. 南田中 | 18. 高野台 | 19. 谷原 | 20. 三原台 |
| 21. 石神井町 | 22. 石神井台 | 23. 下石神井 | 24. 関町北 | 25. 関町南 |
| 26. 上石神井南町 | 27. 立野町 | 28. 上石神井 | 29. 関町東 | |

〔郵便番号が178の地域〕

- | | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|---------|
| 30. 東大泉 | 31. 西大泉町 | 32. 西大泉 | 33. 南大泉 | 34. 大泉町 |
| 35. 大泉学園町 | | | | |

〔郵便番号が179の地域〕

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 36. 錦 | 37. 氷川台 | 38. 平和台 | 39. 早宮 | 40. 春日町 |
| 41. 高松 | 42. 北町 | 43. 田柄 | 44. 光が丘 | 45. 旭町 |
| 46. 土支田 | | | | |

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください（（ ）内に数字でご記入ください。）。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数（ ）人 末子の生年月 平成（ ）年（ ）月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

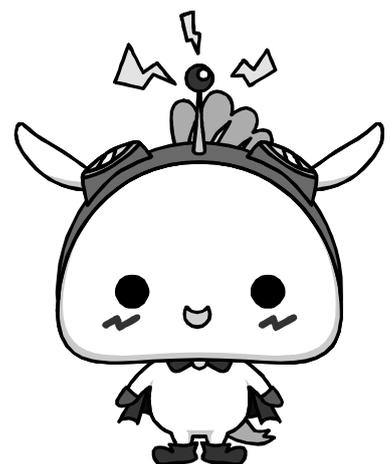
問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ---▶【問9へ】 2. いない／ない ---▶【問10へ】

問9 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. その他の親族（親、兄弟姉妹など） |
| 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 | 4. 職場の人 |
| 5. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間 | 6. 子育てサークルの仲間 |
| 7. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生 | 8. かかりつけ医など |
| 9. 保育園、幼稚園、学校の区担当窓口 | 10. 子ども家庭支援センター、すくすくアドバイザー |
| 11. 児童館、学童クラブ、地区区民館 | 12. 子育てのひろば「ぴよぴよ」「にこにこ」など |
| 13. 総合福祉事務所の母子自立支援員 | 14. 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 15. 学校教育支援センターの教育相談室 | 16. 保健所、保健相談所 |
| 17. 児童相談所（東京都児童相談センター） | 18. 民間の電話相談 |
| 19. ベビーシッター | 20. インターネットの子育てサイト |
| 21. その他（ ） | 22. 相談すべきことはない |



あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 10 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|---|-----------|
| 1. 就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } | 【(1) -1へ】 |
| 2. 就労しているが、産休・育休・介護休業中である | | |
| 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } | 【(2)へ】 |
| 4. これまで就労したことがない | | |

(1) - 1 (1)で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「就労形態」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(日数と時間は()内に数字でご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、()内に具体的な就労形態を記入してください。)

1週当たり()日	1日当たり()時間
就労形態 [正 規 ・ 派 遣 ・ パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ その他()]	

(1) - 2 (1)で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時00分~18時30分のように、24時間制でお答えください(()内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻()時()分	帰宅時刻()時()分
----------------	--------------

(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|---|-----------|
| 1. 就労しており、育休・介護休業中ではない | } | 【(2) -1へ】 |
| 2. 就労しているが、育休・介護休業中である | | |
| 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } | 【問11へ】 |
| 4. これまで就労したことがない | | |

(2) - 1 (2)で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「就労形態」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(日数と時間は()内に数字でご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、()内に具体的な就労形態を記入してください。)

1週当たり()日	1日当たり()時間
就労形態 [正 規 ・ 派 遣 ・ パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ その他()]	

(2) - 2 (2)で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時00分~18時30分のように、24時間制でお答えください(()内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻()時()分	帰宅時刻()時()分
----------------	--------------

問 11 問 10 の (1) 母親または (2) 父親で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。今後、就労状況を変更する希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
→増加後の日数等 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 実現時期 () か月後
2. 就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
→増加後の日数等 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間
3. 今の就労を続けることを希望
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. 就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
→増加後の日数等 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 実現時期 () か月後
2. 就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
→増加後の日数等 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間
3. 今の就労を続けることを希望
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問 12 問 10 の (1) 母親または (2) 父親で「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 13 へお進みください。今後、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、日数、時間等については該当する () 内に数字をご記入ください。就労形態については該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、() 内に具体的な就労形態を記入してください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい
→希望時期 () か月後
→希望する就労形態

}	ア. 就労形態 正規・派遣・パート・アルバイト・その他 ()
	イ. 就労日数・就労時間 →1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間
4. 就労の予定が決まっている
→ 開始時期 () 年 () 月から 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい
→希望時期 () か月後
→希望する就労形態

}	ア. 就労形態 正規・派遣・パート・アルバイト・その他 ()
	イ. 就労日数・就労時間 →1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間
4. 就労の予定が決まっている
→ 開始時期 () 年 () 月から 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

問 13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。

主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（

)

問 13-5 問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由として最も当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現状では利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 一時預かりを利用している
9. 子どもがまだ小さいため〔（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている〕
10. 利用方法（手続き等）がわからない
11. その他（

)



問 14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、お子さんの成長にあわせて年齢ごとに希望する事業を【A群：希望する教育・保育事業】から3つまで番号を記入してください（現在のお子さんの年齢（平成28年4月1日時点の年齢）以降、5歳までについてお答えください）。また、その事業を希望する上で重視する条件について、あてはまる条件を【B群：事業を希望する上で重視する条件】から3つまで番号を記入してください。
あわせて、1週当たりの利用希望日数、1日当たりの利用希望時間もご記入ください。

	A群：希望する教育・保育事業（3つまで）			B群：事業を希望する上で重視する条件（3つまで）			1週当たり希望日数	1日当たり希望時間
0歳							日	時間
1歳							日	時間
2歳							日	時間
3歳							日	時間
4歳							日	時間
5歳							日	時間

【A群：希望する教育・保育事業】

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用のみ）
2. 練馬こども園、預かり保育のある幼稚園（通常の就園時間＋就園時間を延長して預かる事業を定期的に利用）
3. 認定こども園
4. 延長保育のある認可保育所
5. 延長保育のない認可保育所
6. 認証保育所
7. 家庭的保育事業（保育ママ）
8. 小規模保育事業
9. 事業所内保育事業
10. 居宅訪問型保育事業
11. 一時預かり事業を活用した定期利用保育
12. ファミリーサポート事業
13. 利用希望なし
14. その他（ ）

※：事業の内容については、表紙裏面の「用語の説明」または別冊「練馬区の子育て支援制度の紹介」をご参照ください。

【B群：事業を希望する上で重視する条件】

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 教育・保育の内容や方針 | 2. 教員・保育者の質 |
| 3. 施設や設備 | 4. 園庭の有無 |
| 5. 保育時間 | 6. 認可の有無 |
| 7. 保育料 | 8. 自宅からの距離 |
| 9. 利用する駅や職場からの距離 | 10. その他（ ） |

問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 練馬区内 | 2. 他の区市町村 |
|---------|-----------|

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 18 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます。）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時00分～18時00分のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		
		()時()分から ()時()分まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		
		()時()分から ()時()分まで

問 19 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時00分～18時00分のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		
		()時()分から ()時()分まで



練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」 ©練馬区

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 20 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していらない方は、問 21 にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ---▶ 【問 20-1 へ】 2. なかった ----▶ 【問 21 へ】

問 20-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	() 日程度
2. 母親が休んだ	() 日程度
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	() 日程度
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	() 日程度
5. 病児・病後児の保育を利用した	() 日程度
6. ベビーシッターを利用した	() 日程度
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日程度
8. その他()	() 日程度

---▶ 【問 20-5 へ】

問 20-2 問 20-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 ----▶ 【問 20-3 へ】
2. 利用したいとは思わない -----▶ 【問 20-4 へ】

問 20-3 問 20-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 病児・病後児保育の専用施設で子どもを保育する事業
4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
5. その他()

-----▶ 【問 21 へ】

あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
うかがいます。

問 21 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数
1. 保育施設での一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日程度
2. 乳幼児一時預かり (私用など理由を問わずに子育てのひろば「ぴよぴよ」で一時的に子どもを保育する事業)	() 日程度
3. 民設子育てのひろばでの一時預かり (私用など理由を問わずに民間団体が運営している子育てのひろばで一時的に子どもを保育する事業)	() 日程度
4. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	() 日程度
5. ファミリーサポート事業 (地域住民が子どもを預かる事業)	() 日程度
6. 夜間一時保育：トワイライトステイ (児童養護施設等で夜間に子どもを保育する事業)	() 日程度
7. ベビーシッター	() 日程度
8. その他 ()	() 日程度
9. 利用していない	

問 21-1 問 21 で「9. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | |
| 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない | |
| 8. 利用方法（手続き等）がわからない | 9. その他 () |

問 22 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 () 日	
【問 22-1 へ】	1 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
	2 冠婚葬祭、学校行事	() 日
	3 親の通院	() 日
	4 祖父母の介護	() 日
	5 不特定の就労	() 日
	6 その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない	---▶ 【問 23 へ】	

問 22-1 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育てのひろば等） |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポート事業等） |
| 4. その他（ <input type="text"/> ） |

問 22-2 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

利用したい曜日はいつですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 月曜日 | 2. 火曜日 | 3. 水曜日 | 4. 木曜日 |
| 5. 金曜日 | 6. 土曜日 | 7. 日曜日 | |

問 22-3 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

利用したい時間帯を、(例) 9 時 00 分～18 時 00 分のように 24 時間制でご記入ください。

() 時 () 分 から () 時 () 分まで

問 23 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）。あった場合は、この 1 年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（) 内に数字でご記入ください。

	1 年間の対処方法	日数
1. あった	1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった -----▶ 【問 23-1 へ】	(<input type="text"/>) 泊
	2 ショートステイを利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業)	(<input type="text"/>) 泊
	3 2 以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	(<input type="text"/>) 泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	(<input type="text"/>) 泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	(<input type="text"/>) 泊
	6 その他 (<input type="text"/>)	(<input type="text"/>) 泊
2. なかった		

問 23-1 問 23 で「1. あった」「1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 24 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）19時のように24時間制でご記入ください。

「児童館」：地域の子どものための遊びや活動の場として、区内に17か所の児童館と厚生文化会館児童室があります。

「ひろば事業」：すべての小学生を対象に小学校内のひろば室・校庭や図書室等を活用して放課後の安全・安心な子どもの居場所を提供するものです。年間500円の保険料がかかります。地域の方々に構成された学校応援団が見守りを行う「学校応援団ひろば事業」と、ねりっこクラブ事業として見守りを行う「ねりっこひろば」の2つの形態がありますが、同じ趣旨の事業となっています。

「学童クラブ」：保護者が共働きなどのため放課後の保育を必要とするお子さんをお預かりする施設で、指導員の指導のもとに遊びや生活を通じて協力しあい、楽しくいきいきと放課後を過ごすところです。区内には、児童館内、小学校内などに学童クラブが89か所あります。原則として月額5,500円の保育料がかかります。

「ねりっこクラブ」：ねりっこクラブは、小学校の施設を活用して、「学童クラブ」と「学校応援団ひろば事業」のそれぞれの機能や特色を維持しながら、事業運営を一体的に行うものです。保育を必要とする児童を対象とした「ねりっこ学童クラブ」と、実施校の児童なら誰でも利用できる「ねりっこひろば」があり、児童の成長などに合わせて選択することができます。「ねりっこ学童クラブ」を利用する場合は、学童クラブと同じで、原則として月額5,500円の保育料がかかります。「ねりっこひろば」のみ利用する場合は、原則年間500円の保険料がかかります。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい |
| 4. 児童館 ※ | 週（ ）日くらい |
| 5. 学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば | 週（ ）日くらい |
| 6. 学童クラブ、ねりっこ学童クラブ | 週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで |
| 7. ファミリーサポート事業 | 週（ ）日くらい |
| 8. その他（地区区民館、生涯学習センター、公園など） | 週（ ）日くらい |

※ 児童館内の学童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 25 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）19時のように24時間制でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい |
| 4. 児童館 ※ | 週（ ）日くらい |
| 5. 学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば | 週（ ）日くらい |
| 6. 学童クラブ、ねりっこ学童クラブ | 週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで |
| 7. ファミリーサポート事業 | 週（ ）日くらい |
| 8. その他（地区区民館、生涯学習センター、公園など） | 週（ ）日くらい |

※ 児童館内の学童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 26 問 24 または問 25 で「5. 学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんについて、土曜日と夏休み等長期の休暇期間中のひろば事業の利用希望はありますか。
 (1)、(2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない	

(2) 夏休み等

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない	

問 27 問 24 または問 25 で「6. 学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み等長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望
 はありますか。事業の利用には、問 24 の説明にあるように原則として月額 5,500 円の保育料がかかります。
 (1)、(2)、(3) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間
 帯を、() 内に (例) 8 時～19 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用する必要はない	

(3) 夏休み等

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用する必要はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 育児休業を取得した (取得中である) ⇒取得期間()年()か月 3. 育児休業を取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 育児休業を取得した (取得中である) ⇒取得期間()年()か月 3. 育児休業を取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
7. 保育所(園)などに預けることができた
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
15. その他() | 2. 仕事が忙しかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
8. 配偶者が育児休業制度を利用した |
|--|---|

問 28-1 すべての方がお答えください。子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業および企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

問 28-2 問 28 で「2. 育児休業を取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である→【問 28-9 (1)へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した | |

(2) 父親

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である→【問 28-9 (2)へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した | |

問 28-3 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

(2) 父親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

問 28-4 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。それぞれ () 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

勤め先の取得可能期間	() 歳 () か月
実際の取得期間	() 歳 () か月
希望	() 歳 () か月

(2) 父親

勤め先の取得可能期間	() 歳 () か月
実際の取得期間	() 歳 () か月
希望	() 歳 () か月

問 28-5 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内で数字でご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () か月

(2) 父親

() 歳 () か月

問 28-6 問 28-4 で実際の復帰と育休の取得希望が異なると回答した方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 28-7 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。また、お勤め先の短時間勤務制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、それぞれ該当する () 内に数字をご記入ください。

(1) 母親

- | |
|--------------------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用中 () 歳 () か月まで |
| 2. 短時間勤務制度を利用した () 歳 () か月まで |
| 3. 短時間勤務制度を利用しなかった |
| 勤め先の取得可能期間 () 歳 () か月 |
| 希望 () 歳 () か月 |

(2) 父親

- | |
|--------------------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用中 () 歳 () か月まで |
| 2. 短時間勤務制度を利用した () 歳 () か月まで |
| 3. 短時間勤務制度を利用しなかった |
| 勤め先の取得可能期間 () 歳 () か月 |
| 希望 () 歳 () か月 |

問 28-8 問 28-7 で「3. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問 28-9 問 28-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

子育て全般についてうかがいます。

問 29 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------------|-----|---|-----------|
| 1. 楽しいと感じることが多い | --- | ▶ | 【問 29-1へ】 |
| 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい | } | | 【問 29-2へ】 |
| 3. つらいと感じることの方が多い | | | |
| 4. その他 () | | | |
| 5. わからない | | | |

問 29-1 問 29 で「1. 楽しいと感じることが多い」と回答した方にうかがいます。

子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 2. 保育サービスの充実 |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 4. 地域における子どもの活動拠点の充実 |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 6. 母親・乳児の健康に対する安心 |
| 7. 子どもの教育環境 | 8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 |
| 9. 仕事と家庭生活の両立 | 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 |
| 11. 養育支援の充実 | 12. その他 () |

問 29-2 問 29 で「2.」「3.」と回答した方にうかがいます。

つらさを解消するために必要と思うことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 2. 保育サービスの充実 |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 4. 地域における子どもの活動拠点の充実 |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 6. 母親・乳児の健康に対する安心 |
| 7. 子どもの教育環境 | 8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 |
| 9. 仕事と家庭生活の両立 | 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 |
| 11. 養育支援の充実 | 12. その他 () |

問 30 練馬区における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 31 最後に、教育・保育環境や子育て支援施策の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。